

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 14 日作成)

委員会名	RILEM 小委員会	主 査 名：檜野紀元
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	15 年 4 月 ～ 17 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築分野で使用される材料の性能・特性について、材料科学から材料工学に至るまでの研究に関する日本建築学会の最近の成果を RILEM の技術委員会活動に反映させるとともに、RILEM 全体の活動や情報を日本建築学会会員に紹介する。 平成 15 年度：建築雑誌における RILEM TC の紹介活動 平成 16 年度：上記に加え、RILEM 国際シンポジウム ECM2004 の支援	
委員構成 (委員名 (所属))	主査：檜野 紀元 (市立前橋工科大学 工学研究科 環境・情報工学専攻) 幹事：大濱 嘉彦 (日本大学 工学部 建築学科) 今本 啓一 (足利工業大学 工学部 建築学科) 委員：雨谷 俊彦 ((有) 笹野台テクノ) 石川 雄康 (太平洋マテリアル株式会社 営業本部 鉱産建材営業部) 永山 勝 ((財) 日本建築総合試験所) 川上 修 ((財) 建材試験センター 中央試験所構造グループ) 友澤 史紀 (日本大学 理工学部建築学科) 松井 勇 (日本大学 生産工学部建築工学科) 三橋 博三 (東北大学 工学研究科都市・建築学専攻) 武藤 正樹 (国土交通省 国土技術政策総合研究所 総合技術政策研究センター 建設経済研究室)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2004 年度予算	200,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	年 6 回を目処に委員会を開催。参加人数は 7～9 名。議題の多くは建築雑誌掲載の「RILEM ニュース」の内容審議、ホームページ更新状況の確認および RILEM 国際シンポジウム ECM2004 の進捗状況の確認。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) <ul style="list-style-type: none"> ・ 2002 年 9 月に開設した RILEM 小委員会ホームページにおける、委員会活動内容の継続的公開 (http://news-sv.ajj.or.jp/zairyous3/)。 ・ 建築雑誌「RILEM ニュース」における RILEM TC 等の活動状況の継続的公開。 ・ RILEM 国際シンポジウム ECM2004 への技術的支援 (成功裏に終了し、その概要は建築雑誌に報告済)。 ・ 今後の国内 RILEM 活動に関する方針の策定。 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/zairyous3/
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初計画の目標を予定期間内に達成することができた。今後の材料研究のあり方について、国際的な観点からの情報発信を検討する必要があると考えている。
その他評価すべき事項	過去に発行された RILEM 研究論文集における材料構造研究の推移に関する基礎分析を行ったが、それは、世界の材料研究の方向を探る上で基本的な資料とし得る。